

2025 年度第 2 回代表幹事会 議事録

縣陵東京同窓会

1. 日時：2025 年 7 月 27 日(日) 10:00 ～ 12:00
2. 場所：Z o o mによる web 会議
3. 参加：久保田会長、山岸副会長、百瀬幹事長、福井総務委員長、松澤事務局長、森本総会支援委員長、脇川財政委員長、衣袋縣陵レディース委員長、伊藤渉外委員長、二木次世代委員長、濱田メディア戦略推進委員長、岡田実行委員長、小島事務局
13 名参加
4. 議事
 - (1) 久保田会長挨拶
 - ・ 今年の総会懇親会については、実行委員会の皆様に多大な努力とお力を頂きましてありがとうございました。お陰様で大成功を収めました。外部の方々の評判も良くてホッとしています。これからの後輩の為に引き続きご尽力を頂けると有難いです。
 - ・ 今日多くの課題がありますが、皆さん、思う事を遠慮なく発言して頂けると会も活発になりますので、宜しくお願いいたします。
 - (2) 第 58 回総会懇親会の報告（岡田実行委員長）
 - ・ 幹事会の皆さんのお陰で予想以上に盛り上がった会になった。
 - ・ 200 名には達しなかったが、現時点で収支が 16 万円ほどプラスとなっている。改めて会計報告を行う予定です。
 - ・ 初めての参加だったが、この会が良いもので継続していかないといけないと感じている。次の高 48 回のメンバーにも接触を試みているがなかなか先に進めていない状況にある。皆様のお力沿いに感謝申し上げます。
 - (二木)
 - ・ 次の高 48 回へのバトンタッチをどうするかは改めて相談したい。
 - (森本)
 - ・ 収支報告は 9 月末を目途に提出して頂く前提で、キャンセル料の請求や引継会の実施を進めて頂きたい。引継会の実施については、別途相談したい。
 - (百瀬)
 - ・ 原則としては 9 月末で締めて会計委員長と監事による会計監査を予定している。
 - ・ 松澤事務局長に、高 48 回のメンバーの連絡先の提供をお願いしたい。
➡ 整理・把握して改めて連絡する。
 - (二木)
 - ・ 少しなら協力できるという人が 3 人いる。他者への連絡方法については、この 3

人と相談しながら進めていきたい。

(百瀬)

- ・ 高 48 回の方には、一人でも多く集まってもらい、今回の高 47 回の皆さんのような感動を味わってもらえると良いと思っている。是非とも次に繋げられるように、高 48 回のメンバーの発掘を皆さんと協力しながら進めていきたい。

(3) 来年の総会懇親会場について (二木総会支援副委員長)

- ・ アルカディア市ヶ谷のほか池袋のサンシャインシティ 58 階にあるクルーズクルーズも候補として検討している。
- ・ クルーズクルーズは、コスト的にもアルカディアより抑えられそうな感じがある。58 階にあるので眺望は抜群であるが、神奈川方面の方など池袋に来にくい人がいるかもしれない。会場は横長になるがスクリーンなども使える。これから比較検討の資料もつくるので、そのうえで議論していきたい。

(福井)

- ・ 若い人を増やすという大命題がある中で、辛気臭くなく斬新性もあり、高くて眺望が良いのでワクワク感がある。型にはまらない自由がある会場なので、同窓会を変えていける期待が持てる。サンシャインに行くまでが少し大変かもしれない。

(伊藤)

- ・ 受付スペースは確保できるのか。
➡ エレベーターを降りて左に通路があるので、工夫次第で確保できる見込み
- ・ 場所が新しくなって雰囲気もかわるので、前向きに検討して頂きたい。
- ・ 私は横浜ですが、市ヶ谷より池袋は近く行けるので問題ないと思う。

※ 総会支援委員会が中心になり比較検討を続けていくこととした。

(4) 名簿情報の管理方法について(松澤事務局長、濱田事務局)

- ・ 4 月が会社の異動時期で整理が遅れているが、早めに整理したいので、あと 1-2 か月ほどの時間が欲しい。

※ 引き続き、情報の利用・管理方法について協議を進めていくこととした。

(5) 100 周年事業のアカデミー館建設について

(久保田会長)

- ・ 当初 6,000 万円の寄付を集めたが、建設費の高騰などがあり 6,000 万円では建てられなくなった。ではどうするかという時に、普通は、一般の意見を取り入れて、従来のものを建てるのが良いのか、一度立ち止まって新しく何か他の使い道があ

るのかなどを検討すべきと考えるが、それが全く無くて、2,500 万円の不足分を減価償却積立金を取り崩して進めることで進んでいる。更に、総額 8,500 万円では足りなくて、業者にサービスをさせるという話も出ているが、それだけのお金を出してアカデミー館が本当に必要なのかという疑問が出てきた。

- ・ 東京同窓会として、どういう方針でこの問題に取り組んでいくのかを考えたい。30 日(水)に腰原校長先生と協議する時間を取り、その後で望月会長とも話をする時間を予定している。そのために、今日は、皆さんのご意見をお聞きしたい。

(福井)

- ・ 見積もりに関しては、12 日(土)の関西同窓会の総会懇親会に参加した際に、望月会長から「見積をしたら 1 億円を優に超える。もう 1 回最終的な見積もりを出させて私が最終判断する。来年の 3 月末には何としても完成させたい。」という発言があった。
- ・ 大幅に予算が増加したにも関わらず、当初計画していたものと同じものはできない。金額は 1.5 倍以上になるが、出来上がるのは当初計画の 6-7 割程度のものしか出来ない。
- ・ 関西同窓会の二次会で、幹事の皆さんに詳しいお話しをしたら、関西同窓会の方々は「初めて聞いた。そのような話は今まで聞いていない。この場で直ぐに東京同窓会と足並みを揃えることは出来ないが、先ずは、校長先生の要望を聞き、民主的に望月会長に疑問に答えて貰える話合いの場を設けてもらいたい」との意見が出された。

(二木)

- ・ 前回の幹事会でも話題になったが、今回の話し合いでどれだけ変わるのか。総会で議決したという話もあり、どこまで反映されるのかが分からない。変わる余地はあるのか。

➡ 変えられるかどうかは分からないが、変えたいと考えている。

今年の東京同窓会の総会懇親会で、望月会長から「新たな寄付は考えていない」との発言があった。少なくとも 1 億円は賄えないと考えている。

(山岸)

- ・ 建物のプランを見たが、充分に考えられているプランではないと思う。金額的に 1 億円になるというのは考えられなくはないが、内容が 3-4 割減って、更にこれだけの値上がりというのは考えられない。同じ内容で 1 億というのは納得できるが、いまのプランでは納得出来ない。無理して箱物を作るという考えは止めて、考え直した方が良いと思う。

(伊藤)

- ・ 当初から同窓会館を作るより、他の良い使い方が有るのではないかという意見は同期の中であつた。しかし、蓋を開けたら、当初の内容では出来ず、金額も大幅

に上がると言うのであれば、もう1回全会員に諮るべきと考える。望月さんが、何故3月末までに作らないといけないという使命感に駆られている理由も分からない。前回に募金を呼び掛けた時と条件が余りにも違うので、もう1回会員に確認するというのが筋だと思う。

(森本)

- ・ 基本的には、二木さん・伊藤さんの意見の通りだと思う。個人的には、やろうとしていること自体には賛同するが、民主的に「今こういう状況の中でどうなのよ」と思う。彼らは政治的に進めてきている。リーダーシップや政治力は必要だが、聞かなければ何も出てこないというのはおかしい。ホームページを見てくれ、議事録は全て取ってあると言っているが、それを積極的に開示しようとしていない。俺らに任せなさいと政治的に進めている。事実として、1億円を超えようとしている状況では、せめてもっと情報を出すべきと考える。減価償却積立金の取り崩しや、1億円を超える話も、情報を開示しつつ会員の理解を求める方向で進めて欲しい。作ることには反対しないが、会員に丁寧に説明して行くことが必要と考える。

(百瀬)

- ・ 情報開示については、6月の松本の総会の時に常盤事務局長に対して、寄付してくれた人全員に対して積極的な議事録の開示をしたり、ホームページにも開示したりすることを求めたが拒否された経緯がある。拒否の理由は分からない。
- ・ 回答書に「会報にも開示している、総会でも話している」と有ったが、彼らはこの程度で情報開示したつもりになっているのが厄介だと思う。我々からすると全く不十分な内容だ。この件も来週に確認したいと考えている。

(二木)

- ・ 情報開示について、外から見たらどうなっているのかを整理したい。我々から見えている情報は、会報でしか見えていないが、「アカデミー館を作るぞ」と「6,000万円集まった」そして「作るぞ」と言う話しか出ていない。これで説明責任を果たしたと言われても納得できない。情報発信としては不十分だ。減価償却引当金の取り崩しについても相当乱暴な話だ。情報発信と同意形成が足りないので、出来上がった暁には、そんな風には思っていなかったという話になる。
- ・ 建設については立ち止まってもらい、解体が始まってしまったのであれば、それをどうするかという話をしてもらいたい。
- ・ 私の同期や近い年代の人達は、本件については非常に冷淡な反応しかない。同期でも最初の検討に関わっていた人がいるが、余りにも彼らの意見が反映されない所以、呆れ返って検討から外れたという残念な経緯がある。10-20年たった時に残るメンバーは、その呆れ返ったメンバーだけになる。是非一度立ち止まってもらいたい。

(百瀬)

- ・ 減価償却費引当金の取り崩しについては、当日の予算の議案書に書いてあるだけだった。この議案に反対する人は4人だけで賛成多数で決まってしまった。

(福井)

- ・ 我々は来賓の席から質問したり意見を言ったりしたが、長老のテーブルから「演説は止めろ」「早く変われ」というヤジが飛んだ。そのあと、大澤さんから初めて丁寧な説明があったが、松本の人も初めて理解したという感じだった。挙手の決議で賛成したのは半数位だった。棄権した人の中には過去にモラハラを受けたという人もいた。
- ・ 総会後、常盤さんに挨拶に行ったら「福井さんが羨ましい、私の頭の中では会館建設しか思い浮かばなかった。奨学金だとか高校生にプランを出させるとかは考えられなかった。頂いた質問書にはお答えする」と言っていた。確かに質問書の答えは来たが、十分な内容ではなかった。
- ・ 一旦決めたことなので、最後までやり遂げることが冥途の土産になると考えているのではないか。自分の名誉か満足感のためではないかと思う。
- ・ 常盤さんからは、全国どこの同窓会でも情報公開はしていないと言われた。会社では株主総会に当たるので、株主全員に伝えないいけないのではないかと言ったら、そんなことをしている同窓会はないと反対された。

(衣袋)

- ・ 建設費が上がっているのは分かるが、予算を分かり辛い形で計上しているか疑問だ。総会で一度決議されたことが覆えせるのかが問題になると思う。

(松澤)

- ・ 若い世代の為に作るものなので、現役世代がどう思っているかが疑問だ。
- ・ 決議を取ったと言うが、棄権されていた方もいたというのであれば、賛成者が過半数を超えていたのかも疑問が残る。

(山岸)

- ・ 建築確認申請は取れているのか。取るだけで1か月半くらいかかる。見積もり合わせが1-1.5か月かかる。工事だけで6か月かかるので、来年3月の竣工は厳しいのではないかと。良く話を聞いてきて欲しい。
- ・ 今の時代、工事費を叩くとか、無理やり納期を短縮することは出来ない。スケジュールを良く確認する必要がある。納期で無理を言えばコスト高に繋がる。
- ・ 発注方式としては、一括発注の方が得なケースと分割発注の方が得なケースとがある。一般には、一括の方が経費は高くなる。分割発注の場合は、各社を統括するコンサルトマネージャーが必要になる。また、分割の場合は、竣工後の連携や建設瑕疵の責任が不明確になる恐れがある。コンサルトマネージャーの経費も考

えないといけない。

(脇川)

- ・ 学校側はどう思っているのか、校長・在校生はどう思っているのかが分からない。
- ・ それを確認して、計画を見直して欲しい。

(百瀬)

- ・ 来週に確認するが、6月の東京同窓会で校長先生に聞いた時は「学校が求めるものになっていない」「在校生で喜ぶ人は一人もいません」と言われた。

(二木)

- ・ 5月に校長先生を訪問した時には、去年の冬からは接触がないのに、物事が進んでいる話をきいたので、今年の1-2月に校長先生から説明してくれと要望したら話にきたと言っていた。これを聞く限り、学校と話し合っているとは思えない。

(小島)

- ・ 当初計画より小さなものが出来てしまうのか。在校生の要求なのか、誰のために作るのかを知りたい。

(濱田)

- ・ 焦って来年の3月までに建設する必要はない。松本本部にすれば、5年くらい前から進めている話で、今になって何を言っているんだという認識だと思う。望月さんや常盤さんの熱い思いや彼らへのリスペクトは必要だ。会館を作るのであれば、本当に高校・OBの為であれば建設自体は良いが、いまこの状況で無理して進める話ではない。限られた資金の中で、会館らしきものは作れる。三協フロンティアが提供しているユニットハウスなら費用も易く出来る。
- ・ 例えば、半額の3,000万円で出来る。将来の撤去も簡単。5-10年はこれらを使っても良い。浮いた3,000万円は高校生から意見を出してもらったり、奨学金などで使える。焦らず、延期に持っていければ良いと思う。

(久保田)

- ・ これは誰のために作りたいのかが良く分からない。生徒？学校？同窓生？彼らは記念になるものを作りたいのではないか。誰のために作るのかを明確にして欲しい。

(岡田)

- ・ 実行委員会のメンバーの中では、目的がハッキリしない、今の高校生の為とは思えない、これまでの自分たちのやってきたことを正当化しようとする進め方に見える。人の意見を聞き入れられないのであれば、老害的な部分も見受けられる。

(森本)

- ・ 2017年に購入した西側の土地などを売れば良い。
- ・ 現在、建設予定のレイアウトの使い方の説明も一切ない。

- ・ 建設が、望月さんと常盤さんの花道になっているのではないか。
- ・ 諸状況が当初計画通りにいかないことが明らかなので、立ち止まって考えて欲しい、東京の意見にも耳を傾けて欲しいと思っている。

(百瀬)

- ・ 使い方について、多目的ホールも年間でどの位の頻度で使うのかが分からないので、校長先生に確認しようと思っている。
- ・ また、出来た後の会館の水光熱費等の維持費も気になっており、同窓会の財政が悪化して万年赤字になるのではないかと懸念している。来週、確認したい。
- ・ クラウドファンディングや借金のはなしも出ているようだが、トンでもない話だ。
- ・ 皆さんのご意見を元にして来週確認してきたいと思う。結果は改めて報告する。

(6) 母校との連携と若手開拓の状況について (二木次世代委員長)

- ・ 高 48 回のメンバー 4 名とコンタクトしているが、1 名は松本在住のメンバー。丸山さん以外の 3 名も今年の懇親会に参加してくれたメンバーで実行委員になることは想定していなかったようなので、慎重に進める必要がある。彼らも何かしら協力したいと言ってくれているが、時間を取りにくいといっているので部分的な協力に留まる可能性もある。
- ・ 先ずは、幅広く同期を集めて頂くようにしたい。集まらなかった場合は、幹事会でどうするか考えたい。
- ・ 高 49 回については、今年の懇親会の参加者にはコンタクトを開始した。
- ・ その他の世代との交流会については、次世代委員会のメンバーと進め方を議論する予定。
- ・ (岡田) 高 48 回の開拓についてはコンタクトを続ける。高 49 回についてはバスケット部の後輩がいるので彼らともコンタクトを続ける予定です。

11:34 に閉会した。

以 上